

1996年4月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、北極、プロッキン
グ高気圧が現れたグリーンランドやスカンジナビア半
島は正偏差域に覆われた。太平洋中緯度帯で負偏差域
が広がり、北米大陸北部、北大西洋中部、地中海東部
沿岸でも負偏差となった。帯状平均した亜熱帯ジェ
ットは、平年よりやや北に位置し、平年よりも強かった。
熱帯の対流活動は、インド洋東部から大西洋西部と
ITCZ で平年より活発である一方、太平洋中部から東
部の赤道付近は平年より不活発だった。200 hPa での
大規模な発散中心はニューギニア島北部の赤道付近で
平年より西に20°、北に10°偏っていた。

世界の異常天候

① 日本から中国南東部の低温

② 中国西部及び中央アジア、中東の多雨

中国西部及び中央アジア、中東で低温傾向、多雨と
なり、カザフスタン東部アルマトゥイで月降水量 164

mm (平年比165%) となった。

③ ヨーロッパ西部の少雨

イギリスを除いて引き続き少雨となった。ロシア西
部、ドイツ、オランダで月降水量が 20 mm 未満の所
が多かった。

④ アメリカ合衆国東部の多雨

アメリカ合衆国東部では引き続き多雨となり、また、
中西部では低温となった。

⑤ カナダ南西部の多雨

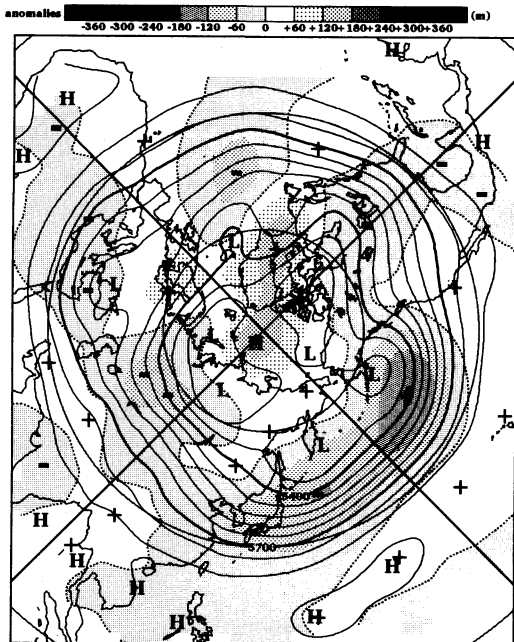
⑥ アメリカ合衆国西部・南部の少雨

アメリカ合衆国西部・南部やアラスカ南西部で少雨
となり、月降水量が 10 mm 未満で平年の20%未満の
所があった。

⑦ ハワイからオーストラリア北東部の高温

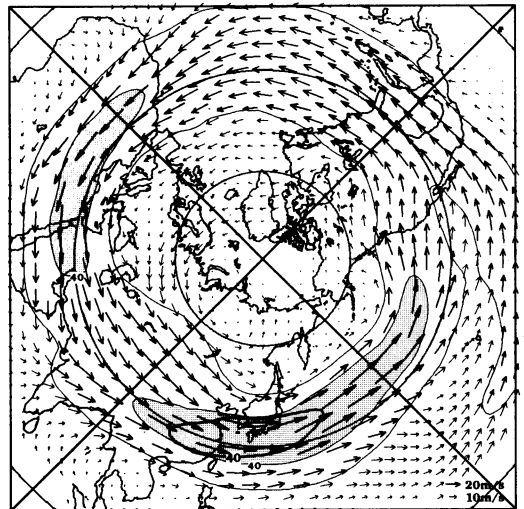
ハワイからオーストラリア北東部にかけて異常高温
となった所が多く、ハワイのホノルルで月平均気温
26.6°C (平年差+2.3°C) となった。

(気象庁予報部長期予報課 徳広 貴之)



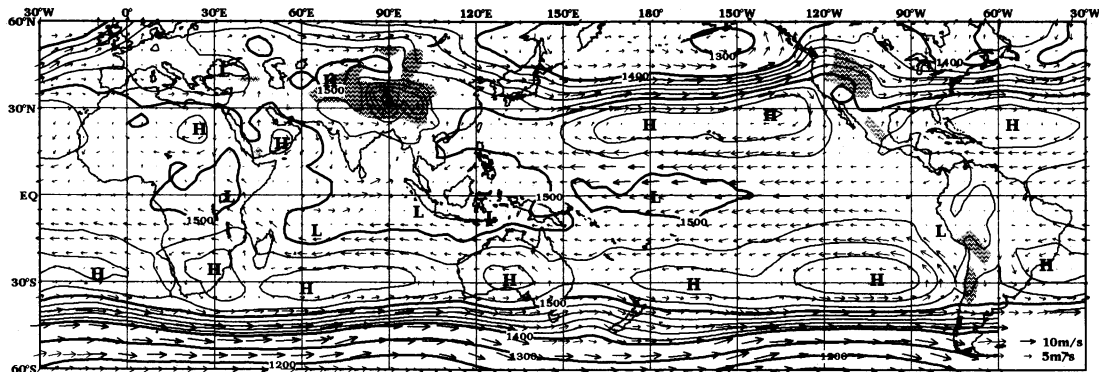
1996年4月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年
偏差

等値線間隔、偏差パターン間隔は 60 m。
平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。

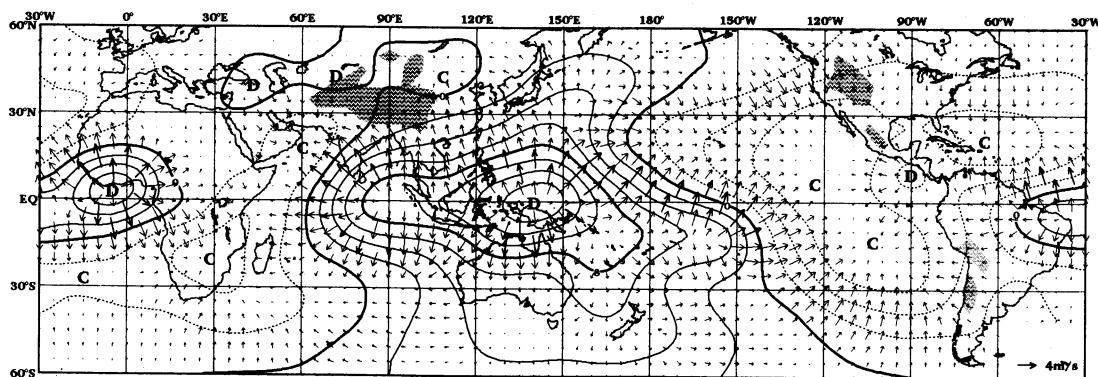


1996年4月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベ
クトル

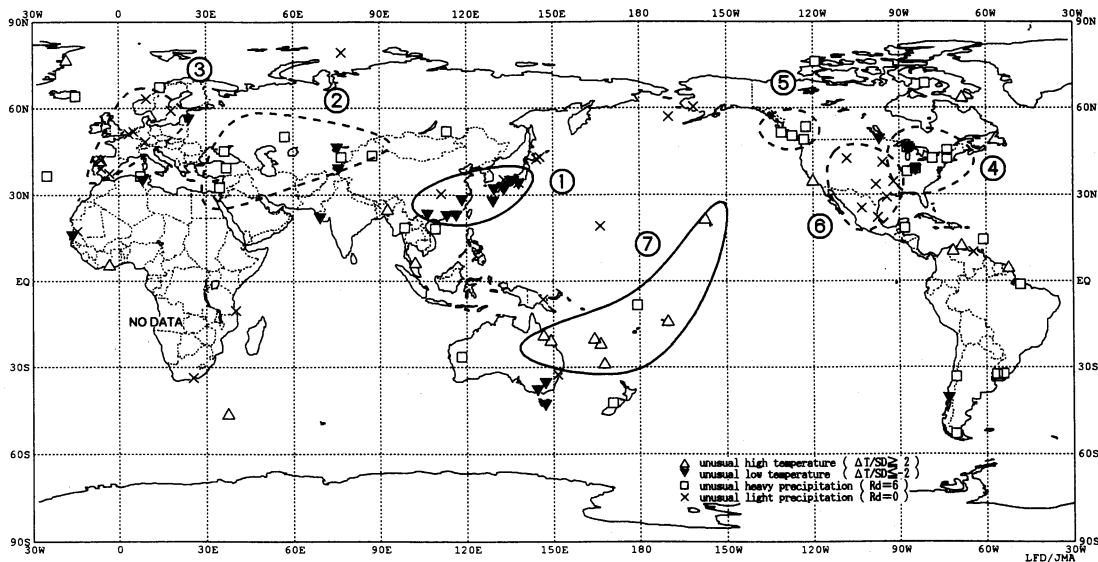
陰影部は平年で 40 m/s 以上、等値線間隔は 20 m/s。
平年値は1979～1990年のデータに基づくもの。



1996年4月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1996年4月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1996年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6または0
 図中の番号は本文中の番号と対応している.